

- I. カナンの地である良き地は、すべてを含むキリストの予表です。このキリストはすべてであり、すべての中におられ、私たちにとってすべてです：申8:10 あなたは食べて満ち足り、エホバ・あなたの神があなたに与えられた良き地のゆえに、彼をほめたたえなければならぬ。
- A) カナンの地だけが、キリストの満ち満ちた予表であり、またキリストの全体的で究極的な予表です。良き地の予表は、キリストがすべてを含む方であることを示しています。
- B) パウロはコロサイ人への手紙において、すべてを含む地の概念を採用して、「聖徒たちに割り当てられた分け前」について語っています：コロサイ1:12 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。
- ①この分け前は、私たちの享受のためのすべてを含むキリストです。②「分け前」と訳されたギリシャ語は、「割り当てられた地」とも訳すことができます。それはヨシユア記第14章1節で述べられた嗣業の割り当てを指しています。③カナンの地は、イスラエルの子たちにとってすべてでした。良き地の予表の実際であるキリストは、私たちにとってすべてです。』
- II. もし私たちが良き地を所有して、神の定められた御旨を完成しようとするなら、戦いに従事し、サタンの勢力を打ち破らなければなりません：
- A) 神の敵であるサタンは全力を尽くして、神の民がすべてを含む方であるキリストを享受することを妨げてきました。サタンは、自分にできることは何であれ行なって、私たちに良き地であるキリストを享受させないようにします：①邪悪な勢力は今日に至るまで、神の民におおいをかけて、キリストがすべてを含んでいることを見させないようにしています。Ⅱコリント4:3 そこで、もし私たちの福音が覆われているとするなら、それは滅びつつある者たちにとって覆われているのです。4この時代の神は、彼らの中で、信じない者たちの思いをくらましてしまい、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、彼らの上に照らさせないようにしています。②私たちが従事しなければならぬ、極めて実際的な霊的戦いがあります。私たちは戦って、すべてを含むキリストを獲得し、キリストのからだとしての召会を建造しなければなりません。』
- B) キリストは私たちの良き地であり、神は私たちにキリストを獲得してほしいのですが、邪悪で悪魔的な勢力がいる一つの層が、私たちと良き地の間にあります。もし私たちが良き地を所有して私たちの享受としようとするなら、これらのサタンの勢力を打ち破らなければなりません。エペソ6:11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができます。12というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。
- C) 私たちは今日のヨシユアとカレブになって、サタンの勢力と戦って、サタンの勢力を打ち破る必要があります。それは、私たちがさらにキリストを獲得し、キリストのからだを建造して、神の永遠の定められた御旨を完成することができるためです。
- III. ヨシユア記がなければ、私たちは、エペソ第6章10節から20節の霊的戦いを完全に理解することはできません：
- A) イスラエルがその地の住民と戦ったことは、地上の目に見える光景の背後で起こっている目に見えない霊的戦いを描写しています。
- B) 目に見える光景の背後の目に見えない光景の中に霊的戦いがあることが意味するのは、地上での戦いに加えて、空中には神とサタンとの戦いがあるということです。
- C) エペソ第2章は、もろもろの天 (heavenlies) にはさまざまな層があることを示しています：①キリストは最も高い層、すなわち第三の天におり、私たちの良き地として私たちのすべてです。②もろもろの天より低い層、すなわち空中があります。そこで、サタンは空中の権威の支配者として、地上の人々が神と接触し、キリストを受け入れることを妨げています。この事は、イスラエルが良き地の中へと入ることを妨げていたカナン人によって予表されています。
- D) もし私たちがキリストを所有して私たちの享受としたいなら、サタンの勢力と戦い、サタンの勢力を打ち破って、キリストをさらに多く獲得し、キリストのからだを建造しなければなりません。』
- IV. 良き地を所有し、サタンの勢力を打ち破るために、私たちは団体のヨシユアへと形成される必要があります：
ヨシユア1:3 あなたがたの足の裏が踏む所はすべて、私はモーセに約束したように、あなたがたに与えている。6強くあれ、大胆であれ。なぜなら、私が父祖たちに与えると誓った地を、あなたはこの民に嗣がせるからである。
- A) キリストは良き地として、彼の信者たちに受け入れられ、所有される用意ができています。しかしながら、キリストを彼のすべてを含むことにおいて受け入れ、所有し、経験し、享受する用意のできている人たちが必要です：①ヨシユア記第1章3節が示しているのは、神はイスラエルに良き地を与えたが、イスラエルはなおもその地を取る必要があったということです。②彼らは神と協力して立ち上がり、神の使命を果たし、その地を所有する必要がありました。』
- B) ヨシユアはイスラエルの子たちを導いて、約束された地に入らせ、またその地を取らせ、所有させ、享受させました：①ヨシユアに対するイスラエルの応答が暗示していたのは、彼らが自発的であり、準備されており、ヨシユアとだけでなくエホバ・彼らの神と一つ思いであったということです。この事は彼らが、彼らの神の御名の中でヨシユアを祝福したことによって表現されています。ヨシユア1:16 彼らはヨシユアに答えて言った、「あなたが私たちに命じられた事をすべて行ないます。あなたが私たちを遣わされる所にはどこへでも行きます。17 私たちはすべての事でモーセに聞き従ったように、あなたに聞き従います。ただ、エホバ・あなたの神がモーセと共におられたように、あなたと共におられますように。②イスラエルは団体のヨシユアとなりました。彼らは神によって選ばれ、召され、贖われ、救われ、訓練され、用意を整えられて、資格づけられました。彼らは神と一であり、前進してカナンの地を取る用意ができていました。③私たちはすべてを含むキリストを獲得するために、団体のヨシユアとなって戦い、その地を取り、キリストを私たちの嗣業として享受する必要があります。
- C) 神の民は形成され、構成され、取り扱われ、訓練されて、資格づけられた後、モアブの平原にきました。そこにおいて彼らは、良き地へと入ってその地を取り所有することを待っていました：民36:13 これらは、エリコに近いヨルダンの対岸にあるモアブの平原で、エホバがモーセを通してイスラエルの子たちに命じられた戒めと規定である。』
- ①イスラエルの子たちが軍隊へと形成されて神のために戦うことが予表するのは、新約の信者たちが建造されて、キリストの有機的なからだとなり、神のエコノミーを遂行するために戦うことです。②神の軍隊、団体のヨシユアは、神の神聖な三一の中の神の祝福の下で、また神の人であるモーセの祝福の下で、良き地を取る準備ができていました。民6:27 彼らが私の名をイスラエルの子たちの上に置くなら、私自ら彼らを祝福する。
- V. 「私たちはみな回復が何であるか、回復がどこにあるか、どのような種類の人が回復を前進させることができるかを知る必要があります。私たちはみな今日、主の回復の中で戦場にいることを見る必要があります。私たちは今日のヨシユアとカレブになって、空中のサタンの勢力と戦うべきです。それは、私たちがさらに多くキリストを獲得し、キリストのからだを建造して、神の王国を設立し、拡大するためです。それは、キリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるためです。』

経験①: 霊的戦いを戦ってキリストを獲得しなければ、喜びと満足のある生活をすることはできない

ヨシュア記がなければ、エペソ人への手紙第6章の霊的戦いを完全に理解することはできません。目に見える光景の背後の目に見えない光景に霊的戦いがあります。これは、地上での戦いに加えて、空中には神とサタンとの戦いがあることを意味します。天はサタンの勢力に満ちています。キリストは私たちの良き地であって、神は私たちにキリストを得てもらいたいのですが、悪魔的、悪鬼的な層が、私たちと良き地の間にあります。もし私たちが良き地を所有して、私たちの享受としたいなら、これらのサタンの勢力を打ち破らなければなりません。…私たちはみな回復が何であるか、回復がどこにあるか、どのような種類の人が回復を前進させることができるかを知る必要があります。私たちはみな今日、主の回復の中で戦場にいることを見る必要があります。私たちは今日のヨシュアとカレブになって、空中のサタンの勢力と戦うべきです。それは、私たちがさらに多くキリストを獲得し、キリストのからだを建造して、神の王国を設立し、拡大するためです。それは、キリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるためです。ただ霊的で聖くあるだけでは足りません。私たちはヨシュアとカレブから学んで、この時代に神の関心事を代行し、敵を打ち破る必要があります。それは、キリストが人々によって獲得され、こうしてキリストが彼を追い求める者たちによって、拡大されることができると示しています。

(良き地は神ご自身が私たちの分け前であることを示しています。私たちは霊的戦いを戦って祝福に満ちた分け前である良き地、神ご自身を獲得する必要があります。)

宇宙全体における唯一の祝福は、神ご自身です。神以外のものは何であれ空虚です。全宇宙は神によって創造されましたが、神がなく、神から離れて、神によって創造された宇宙でさえ空虚です。宇宙の存在は大いなる奇跡ですが、神がなければ宇宙の奇跡的な存在は空虚です。神から離れて、すべてのものは「空の空」です(伝1:2)。神ご自身だけが実際です。彼だけが私たちに与えて祝福です。もし私たちが全宇宙を得ても神を失うなら、最もあわれな人となるでしょう。歴史は、多くの富と多くの物質を得て、しかも最終的に、神がないなら、すべてが空虚であると認識した人の事例で満ちています。神ご自身が私たちの祝福であり、この祝福は、神聖な方を彼の神聖な三一(父、子、聖霊)の中で、私たちの中へと分与することを通して来ます。

中高生編

栄華を極めたソロモンは伝道の書1章2節で、「空の空、すべては空である」と言いました。その後、雅歌の著者でもあるソロモンは、キリストが人生の中の歌の中の歌、満足の中の満足であることを強調しました。さらに歴史上の多くの事例は、キリストが無ければ一切が空であることを示しています。最近、世界的に有名な女性用バッグのデザイナーであるケイト・スペードさんが自殺しました。彼女はデザイナーであり、会社の経営者としても成功し、子育てのために会社経営を第三者に売りました。彼女は素晴らしい成功を収めた人であり、最後には経営者であることに固執せず、子育てを優先しました。一見して彼女の人生は素晴らしいものようですが、彼女の中には満足が無く、不安で満たされていたのです。

中高生の皆さん、キリストが無ければ一切は空の空です。受験勉強の中で、学校生活のさまざまな活動の中で、あなたは必ずキリストを経験してください。時間が経つと、仮に物事がうまくいってもキリストを経験していなければ、その時期が空の空であることに気が付きます。キリストを経験する人は、人間的にも成長する人であり、満足と喜びに満ちています。キリストを経験する中高生は、優れた大学生になることができます。あなたの人間生活のあらゆる事は、あなたがキリストを経験し、キリストの中で成長し、神のエコノミーを遂行することでさらに役に立つ人になるためです。クリスチャンは死ぬ直前まで主の中で成長する人です。キリストを獲得する人生は、満足に満ちた生活です。

経験②: ビジネス パースンは、自分自身を犠牲にし、自己を否み、すべての事柄で自分の関心と好みを放棄し、自分の命の危険を顧みず、神の永遠のエコノミーを遂行する必要がある

神が敵の強奪する手から地を再び獲得するために、私たちは肉体と成ることの原則において彼と完全に協力し、組み合わせられる必要があります。私たちは神の心の願いにおいて、また地上での神の行動において、神と一となる必要があります。今日、神は人を救うことを願っていますが、このことを行なうために彼が必要とするのは、私たちが肉体と成ることの原則にしたがってご自身と一となることです。神の命令(ヨシュア1:1-4)は、ヨシュアが神の約束された地に入ることでした。その地を取る者たちに対する神の命令は、彼の定め、着手、選びに基づいていました。その地を取る者たちは、自分自身を犠牲にし、自己を否み、すべての事柄で自分の関心と好みを放棄し、自分の命の危険を顧みず、神の永遠のエコノミーを遂行する必要があるとありました。

良き地を取るために、彼らは神の行動において完全な神との協力の中へと入らなければなりません。もしイスラエルの子たちが自分自身を見つめたなら、可能性はないと言ったでしょう。しかし、彼らの可能性は唯一の神でした。神は、彼の選びの民が彼と協力して、彼の行動の中で彼のエコノミーを完成し、彼の願いの中で、大いなる車輪としての彼のエコノミーの中で行動することを必要とされました。ここで神は、こう言っておられたかのようです、「イスラエルよ、私の選民よ、あなたがたは何もする必要がないことを知らなければならぬ。ただ私と協力しなさい。私は車輪が走るのを動機づけている。あなたがたは私と一になる必要がある。入って行ってその地を所有しなさい。私は、あなたがたを通して偶像を拝む者たちを殺す。あなたがたなしに、私は何もすることができない」。

在職青年編

神はモーセに命じて、十二人を遣わし、カナンの良き地を探らせました。彼らは戻って来て、モーセと全会衆に報告しました。十人の報告は不信仰なものであり、ヨシュアとカレブの報告は信仰に満ちており、神のエコノミーに沿ったものでした。

十人による不信仰な報告: 民13:31 ところが、彼と一緒に上って行った者たちは言った、「私たちは、あの民に立ち向かって上って行くことはできません。彼らは私たちより強いからです」。32 そして、彼らは探ってきた地について、イスラエルの子たちに悪く報告して言った、「私たちが行って探ってきた地は、そこに住む民を食い尽くす地です。私たちがそこで見た民はみな、背の高い者たちです。33 そこで、私たちはネピリムを見ました(アナクの子たちはネピリムの一部である)。私たちは自分がいなごのように見え、彼らの目にもそのようでした」。

ヨシュアとカレブによる信仰に満ちた報告: 民14:6 すると、その地を探ってきた者たちのうち、又の子ヨシュアとエフネの子カレブは、自分たちの着物を引き裂いた。7 そして、イスラエルの子たちの全集団に語って言った、「私たちが行き巡って探ってきた地は、全く素晴らしい良い地です。8 もし、エホバが私たちに良しとされるなら、私たちがその地に導き入れ、それを私たちに与えてくださるでしょう。それは乳と蜜の流れている地です。(ヨシュア11:23 こうして、ヨシュアは、エホバがモーセに語られたすべてのことにしたがって、その全地を取った。ヨシュアはそれをイスラエルに、彼らの部族による割り当てにしたがって嗣業として与えた。こうしてその地に戦争はなく太平であった。)

不信仰の者たちの報告は、ある事実に基づいていました。そこには確かにネピリム、巨人がおりました。不信仰な者にとって、イスラエルの民が攻めて行けば、イスラエルの民は食べ物にされます。ところが信仰を持ったヨシュアとカレブにとっては、彼らがネピリムであれ何であれ、イスラエルの民の食べ物にすぎませんでした。この事例は、あなたがただ外側の事実に基づいて行動するならば、あなたは必ず敗北者になり、神の言葉を信じる者は強くなり、御言葉に従って祝福されることを示しています。

ヨシュア1:6 強くあれ、大胆であれ。なぜなら、私が父祖たちに与えると誓った地を、あなたはこの民に嗣がせるからである。

7 ただ強く、大いに大胆であれ。私のしもべモーセがあなたに命じたすべての律法にしたがって、守り行ないなさい。そこから右にも左にもそれではならない。そうすれば、あなたはどこへ行っても成功する。8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、あなたはそれを昼も夜も口ずさみ、その中に記されているすべてのことにしたがって、必ず行なわなければならない。そうすればあなたは自分の道を繁栄させ、また成功する。9 私はあなたに命じたではないか? 強くあれ、大胆であれ。恐れではならない、おののいてはならない。あなたがどこへ行っても、エホバ、あなたの神があなたと共にいるからである」。